

# 総合効率化計画の概要

(平成21年度認定事案)

国土交通省政策統括官付参事官（物流施設）室

# 目次

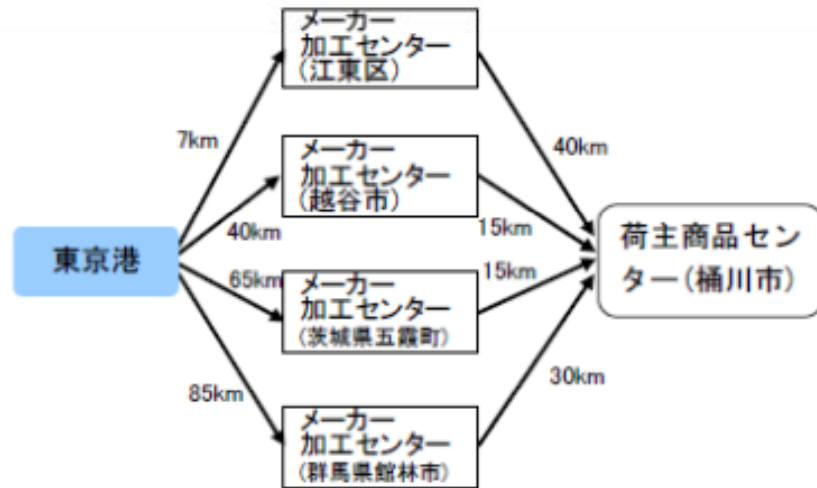
○関東総合輸送(株)	・ ・ ・ ・ ・	1
○ティーエルロジコム(株)	・ ・ ・ ・ ・	2
○沖縄日通エアカーゴサービス(株)		
オーエーエス航空運輸(株)	・ ・ ・ ・ ・	3
○日本通運(株)	・ ・ ・ ・ ・	4
○新潟輸送(株)	・ ・ ・ ・ ・	6
○山九(株)		
(株)サンキュウ・トランスポート・東京	・ ・ ・	7

# 総合効率化計画の概要

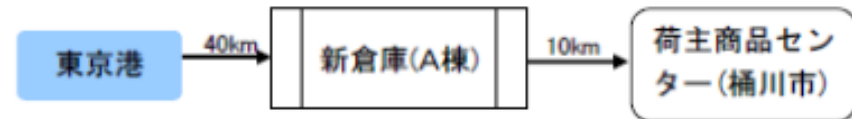
(関東総合輸送(株))

## ■ A棟

[現行のフロー]

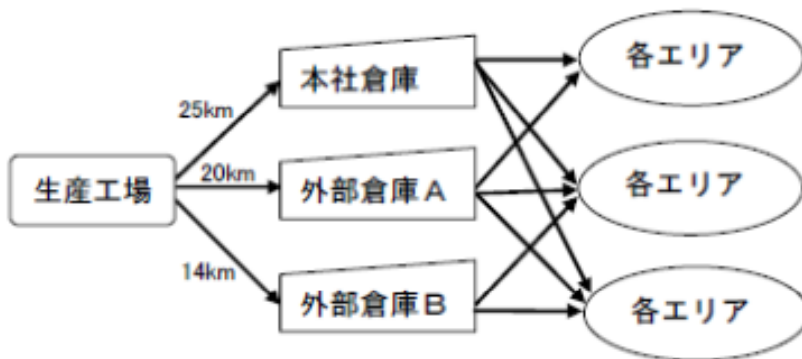


[計画する物流フロー]

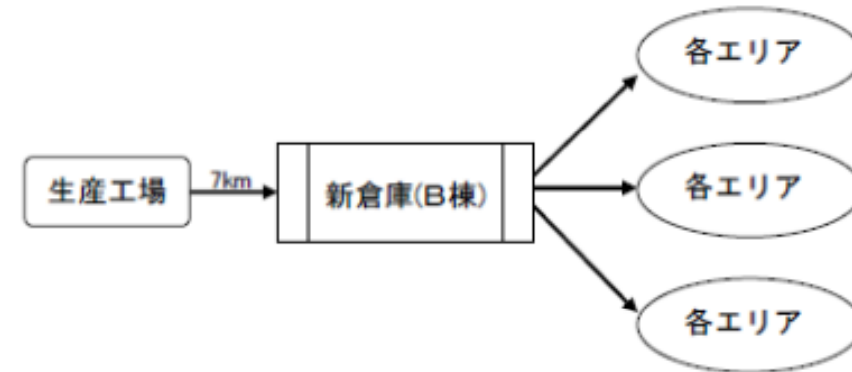


## ■ B棟

[現行のフロー]



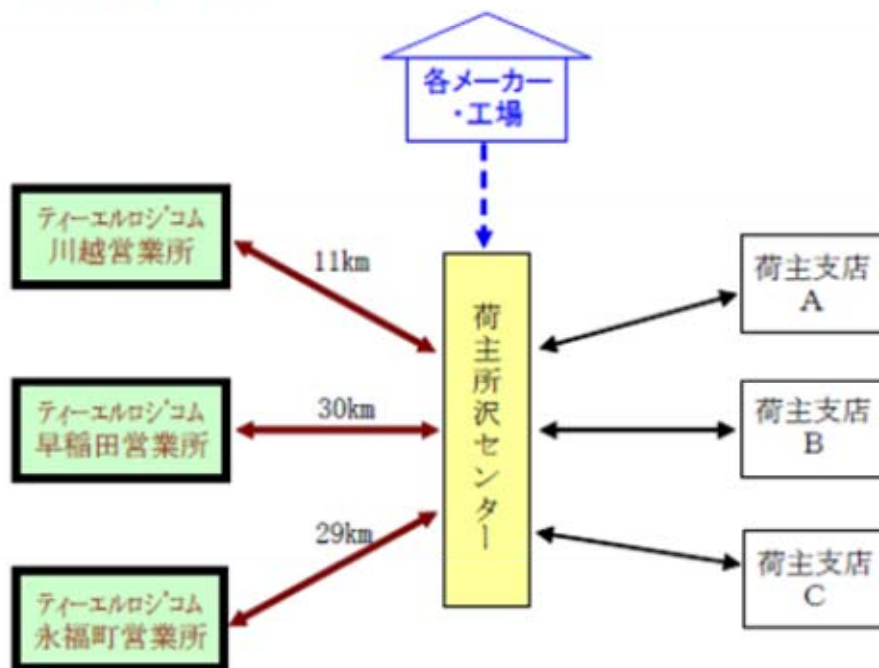
[計画する物流フロー]



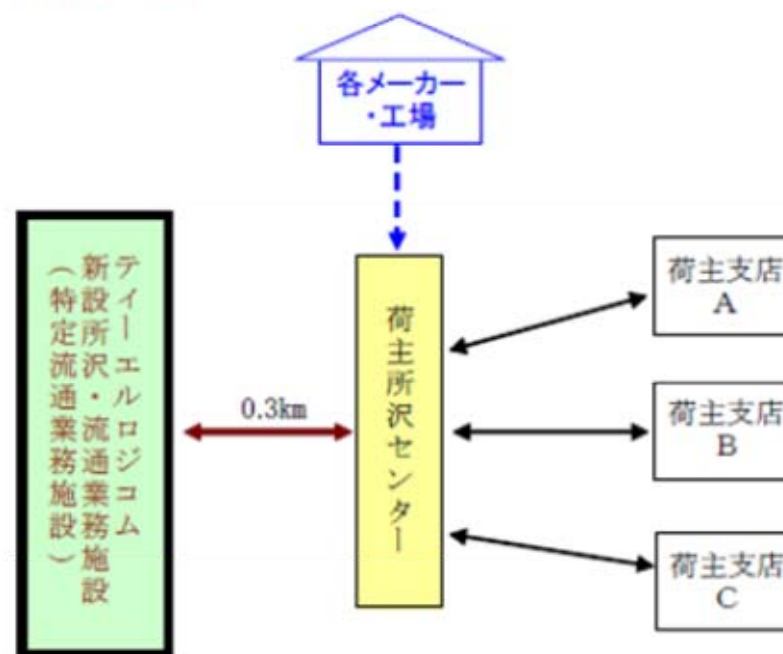
# 総合効率化計画の概要

(ティーエルロジコム (株) )

《 現行ルート 》



《 新ルート 》

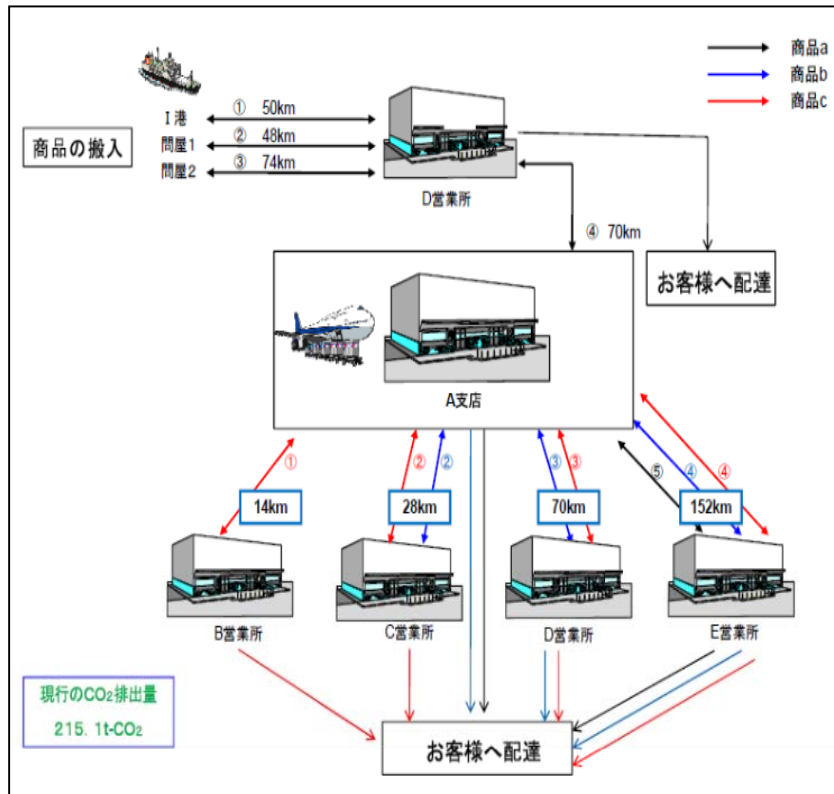


※分散されていた営業所を  
1ヶ所に集約

# 総合効率化計画の概要

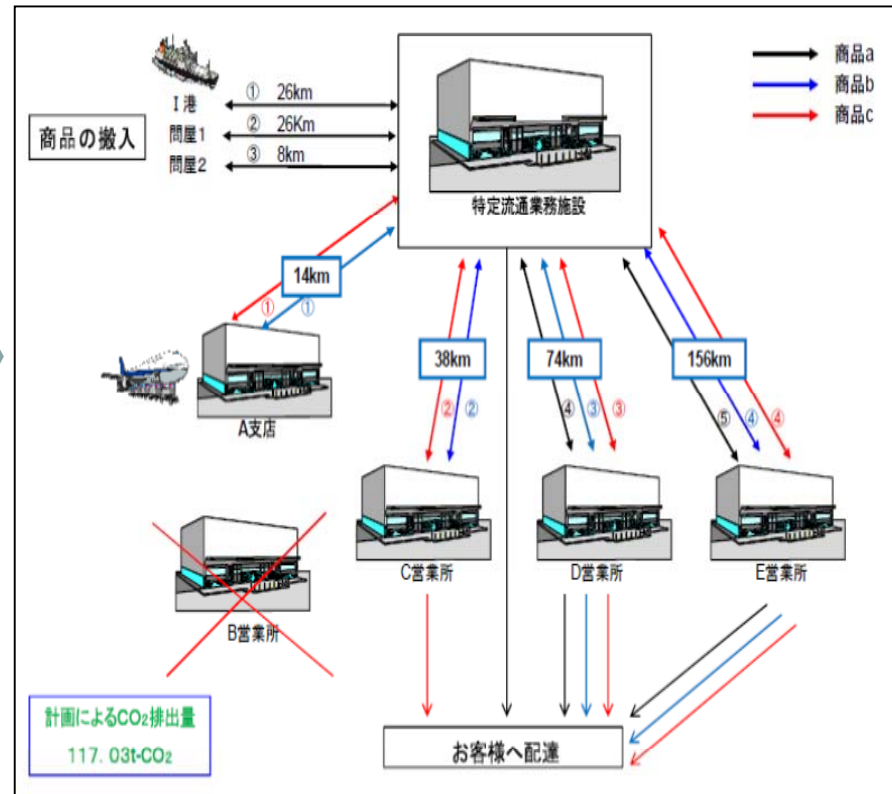
(沖縄日通エアカーゴサービス(株)、オーエーエス航空運輸(株))

## 現行



## 計画

※距離は往復を表す。



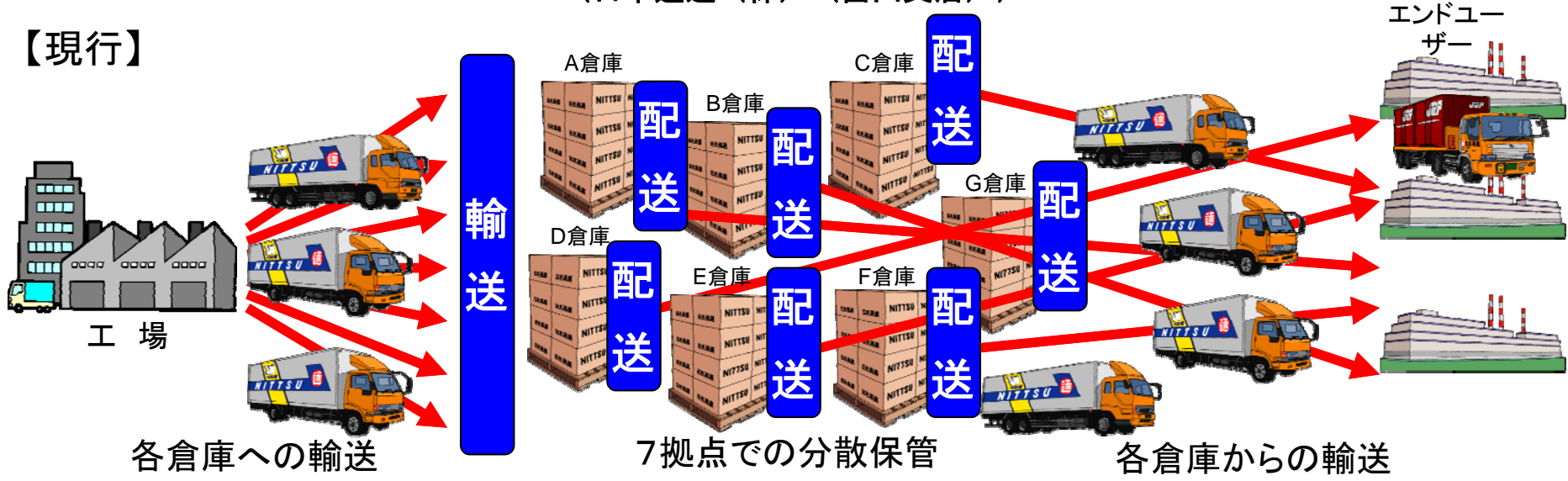
新しい物流拠点として特定流通業務施設を整備し、拠点の統廃合や車両の大型化を行うことにより、物流の効率化やCO<sub>2</sub>排出量の削減を図る。

**CO<sub>2</sub>削減率45.6%**

(現行排出量215.1t-CO<sub>2</sub> - 計画排出量117.03t-CO<sub>2</sub> = 98.07t-CO<sub>2</sub>)

# 総合効率化計画の概要

(日本通運(株) (富山支店))



物流拠点集約による効率的な輸配送により **CO2排出量を約41%削減**

# 特定流通業務施設 完成予想図



名称：日本通運株式会社富山支店  
 富山物流センター  
 所在地：富山県富山市新庄本町2丁目8番59号  
 規模：敷地面積 15,373.79㎡  
 延床面積 9,342.90㎡

## 交通アクセス

JR富山貨物駅より	約3.4km
北陸自動車道 流杉S.I.Cより	約6.3km
富山新港国際貨物ターミナル	約20.8km
富山空港より	約12.8km

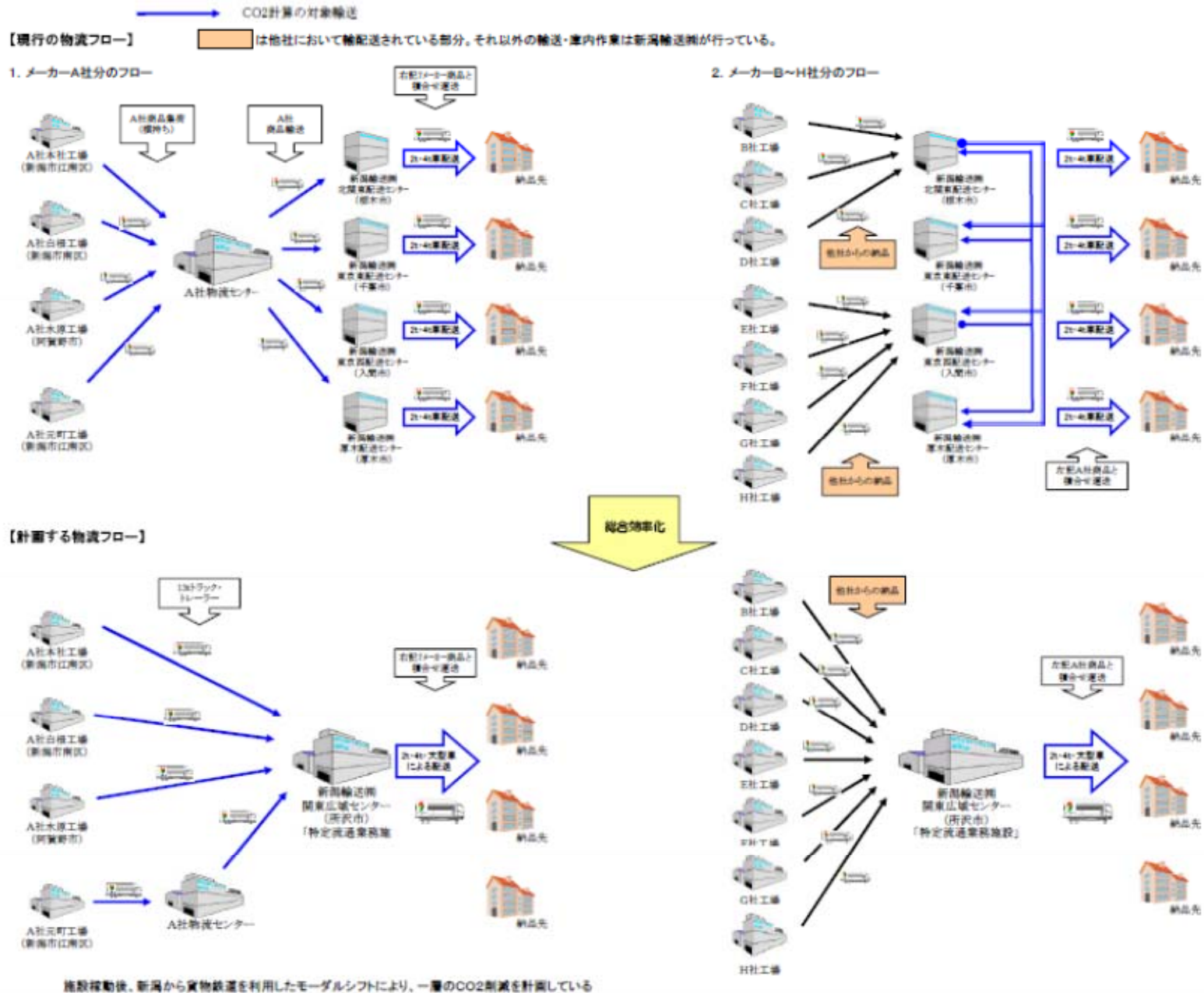
## 主要設備

貨物用エレベータ	2基
垂直型連続運搬装置	1基
貨物保管場所管理システム	
データ交換システム	



# 総合効率化計画の概要

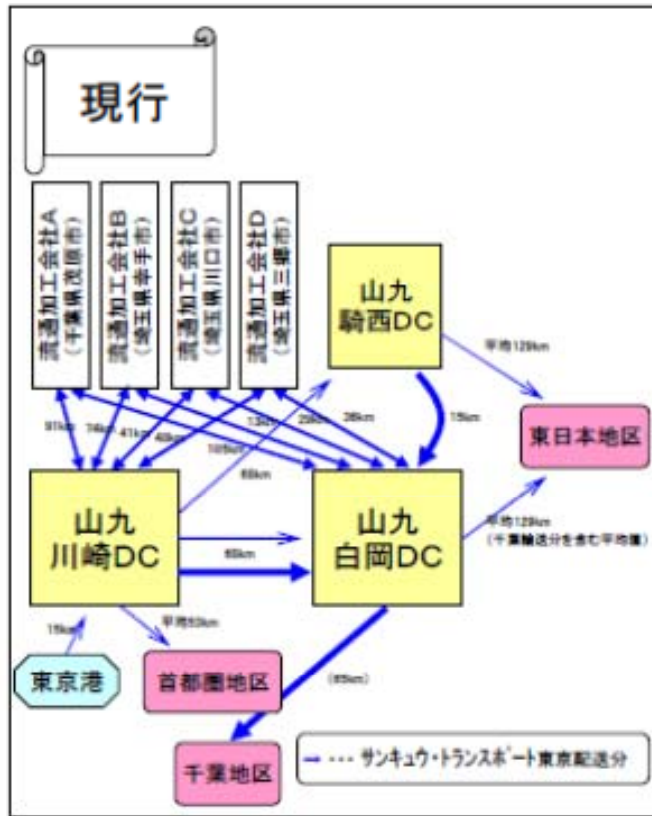
(新潟運輸(株))





# 総合効率化計画の概要

(山九(株)、(株)サンキュウ・トランスポート・東京)



**課題**

取扱量の増加に伴い、既存の物流拠点においてムリやムダな作業と配送が発生。CO2排出量も増加傾向にあった。この取扱量に関しての、適正な在庫配置と配送体制を整備するための“首都圏地区での大型物流拠点”が求められていた。



**取組みと効果: CO2削減 495t<sub>2</sub> ▲11%**

山九首都圏物流センター(特定流通業務施設)を新設。いくつかの物流拠点を集約するとともに配送体制も適正化・効率化させる。また、センター内に大型の流通加工作業設備を設置し横持ちも削減。大幅なCO2削減に取り組む。